

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol.215

■ 2023年度自動車工学関連講座（中堅技術者向けWebセミナー）
第6回「在庫管理と在庫削減の進め方」（会員限定）

次世代自動車センター浜松では、会員企業の皆様からご要望の多い中堅社員向け社内教育として、汎用的なテーマを取り上げ、中堅技術者向けWebセミナーとして開催しています。

本年度も自動車工学関連講座の一環として、多くの社員の皆さんが自社内で受講できる機会を企業力アップにご活用していただくため、カイゼンベース社を講師に、昨年度から内容も見直し、6回連続のWebセミナーとして順次実施しています。

今回は、その第6回目として「在庫管理と在庫削減の進め方」のセミナーを開催しました。

■日 時：令和5年11月15日（水）13時30分～15時30分

■場 所：Web形式

■参加者：59社/240名

Copyright © KAIZEN BASE, Inc. All Rights Reserved.
本資料は全て著作権者からその権利を合法的に譲渡されています。許可なく転載や複製、貸出、改定、改題、改訂、転売等を行うことは禁止されています。詳細はお問い合わせください。

在庫管理と在庫削減の進め方

Lesson1 **在庫管理の重要性（前編）**

Lesson1 在庫管理の重要性

2. 過剰在庫の問題点と原因

在庫の役割

トラブル対応
展示機能 製造計画の平準化
輸送の合理化 顧客満足

在庫の問題

- ✓金利負担増大
- ✓資金回転率低下
- ✓作業・運搬増大
- ✓スペースムダ使い
- ✓エネルギー費増大
- ✓陳腐化による廃棄
- ✓問題が隠れてしまう

自動車工学関連講座

2023年度 第6回 中堅技術者向けWebセミナー
「在庫管理と在庫削減の進め方」

開催回	内 容	講 師	実施予定日
第1回	「トヨタ生産方式基礎講座（初級編）」	カイゼン ベース	5月17日（水）
第2回	「トヨタ生産方式基礎講座（中級編）」		6月14日（水）
第3回	「トヨタ生産方式基礎講座（中級編：標準作業）」		7月19日（水）
第4回	「品質・生産性を維持管理する変化点管理の進め方」		9月13日（水）
第5回	「3つの役割を果たす！ 橋内物流改善の進め方」		10月18日（水）
第6回	「在庫管理と在庫削減の進め方」		11月15日（水）

公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構
次世代自動車センター浜松

Lesson2 在庫管理の進め方

1. 在庫の指標

代表的な在庫指標

在庫金額 在庫量 棚卸資産回転期間
(在庫回転期間)

✓ 売上に対し在庫を何日または何ヶ月分持っているかを示す指標。在庫をすべて消費（販売）するためにかかる期間
✓ 短いほど、在庫の効率が良いことを示している

Lesson4 ロケーション管理と在庫最適化

2. 実務における在庫削減活動 ～プロジェクトと日常改善で在庫削減～

在庫削減活動の進め方

在庫の現状を整理する（関連部署が集まって行う）

部署をまたぐ問題

- ✓在庫品の選定
- ✓生産計画の共有化
- ✓ストックポイントの明確化、見直し
- ✓部品・製品の標準化
- ✓・・・

プロジェクト活動

部署内の問題

- ✓納入品遅れ削減
- ✓発注ロット見直し
- ✓製造L/T短縮
- ✓不良率改善
- ✓・・・

日常的な改善活動

問題点の把握
(調査、製造L/T、見込み精度、不良率等)

根本原因の追求

方策の実行

- ・L/Tの短縮
- ・見込み精度の向上
- ・歩留り、不良率の改善 等

【参加者の声】

- ・在庫のメリット・デメリット、適正在庫・発注数管理の考え方について、基礎から学習できた。
- ・在庫発注にもいろいろな発注定義があることが分かった。また在庫が利益に直結することがわかり、在庫管理をもっと重視すべきと思った。
- ・在庫を持つだけでも、在庫総額の25%の管理費がかかるということに驚いた。現時点で製造しているものだけでなく、抱えている在庫をどう減らすかということも同時に考えて実行していくことが大切だと分かった。また、在庫削減に対する目標を設定し、その目標に向かって複数の部門が協力していくことが削減への第一歩に繋がると思った。
- ・在庫を持つメリット・デメリットという基本的な内容から、発注方法や置場スペースの管理方法など実践的な内容でした。
- ・過剰在庫は、欠品を防ぐ、ラインを止めずに製造ができるなど、機会損失を回避できる一方で、在庫管理のための人件費や場所代がかかる、また、在庫の価値が下がるなど、収益を圧迫してしまうリスクもある。本セミナーでは、現状の管理状況を正確に把握し、適正在庫を創り出すアイデアと手法を学ぶことができ、大変参考になった。
- ・「在庫管理状態が見られている」という点について、倉庫内の整理整頓だけでなく社員教育も重要であることが印象に残った。適切な在庫管理を行うことで生産性及び安全性の向上や高品質担保の実現等、メリットや影響範囲が大きいことが分かったため、実務に生かしていく。また、デジタル技術も活用することでより、効率的に正確に管理できる環境を構築していきたい。
- ・実務で悩んでいる安全在庫の設定ポイントの考え方や、部品発注方法のランク分け等参考になった。
- ・在庫があると急な依頼に対応できるから安心だと思っていたが、部品を探したりスペースが足りなかったり無駄も多いと感じた。5Sの徹底や3定が在庫の管理をしやすくするので、進めていきたい。
- ・在庫管理の重要性を改めて感じる事ができた。会社の問題として当てはまることも多くあると感じたので、一丸となって取り組むべき問題だと思った。
- ・在庫は資産だという視点で見たことがなかった。在庫管理費に思いのほか費用がかかっていることを知り、余剰在庫を持たない管理を目標としたい。
- ・在庫管理の役割から費用面、つくり方、現物の管理、また、削減するための全社活動など、1つの部門のみでは実現できないことが良く分かった。
- ・システムを導入しており、在庫管理はシステム管理が重点となっているが、基礎的な考え方や状況判断に必要な指標の知識が得られたことは、とてもプラスになった。
- ・在庫量が多過ぎるとそれに比例して管理コストがかかることは漠然と分かっていたが、適正在庫を定量的に評価するアプローチを知ることができて参考になった。
- ・とても勉強になったが、最終的にはそれぞれの会社の工場や物流部門がどのような考えを採用して、どのような管理をしているかに行きつくと感じた。今回のセミナーで学んだことを基礎として、社内的な確認を進めていこうと考えている。
- ・公式に当てはめて正しいと思い込んでしまうところがあったので、季節要因や外部環境の変化を考慮し、長期的な視点をもって管理することの必要性を感じた。